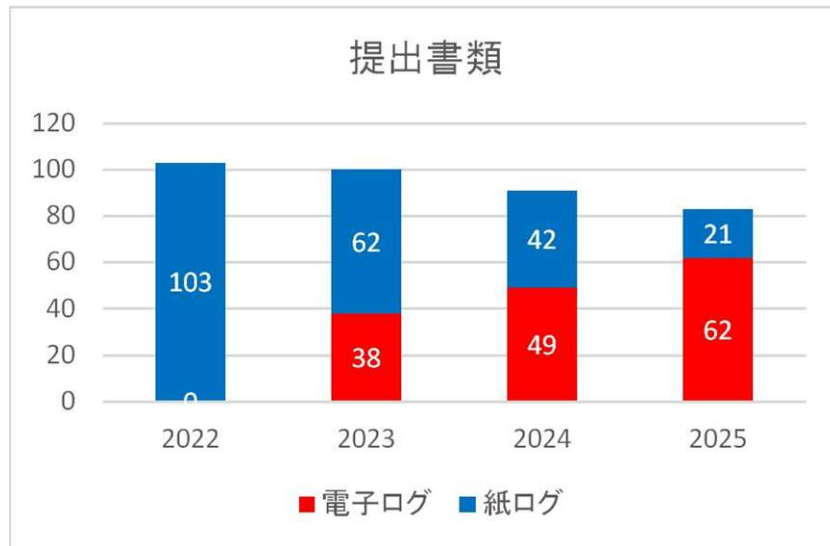


第55回全福島マラソンQSO分析

1. 提出書類数（参加局数）は減少傾向にあります。

また、書類の形式は紙ログから電子ログへ大きく変化してきました。

電子化されることによって転記ミスの減少が減少し、作業効率の向上が図れ、分析などをやり易くなりました。

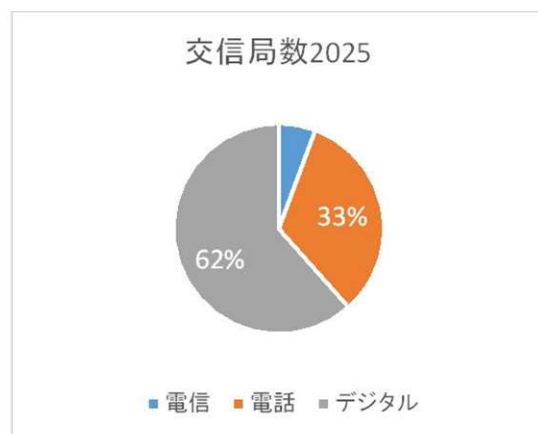
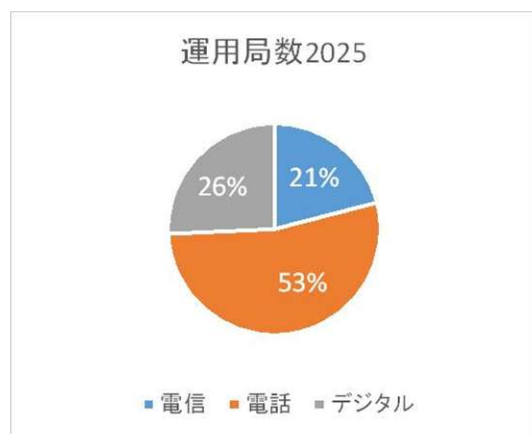


2. 2025年度のモード別運用局数実績では、電話が全体の約半分、

デジタルと電信がそれぞれ全体の約1/4ずつという結果になりました。

一方、交信局数実績では、電話が全体の1/3、デジタルが全体の2/3弱、電信が全体の1/20という結果になりました。

交信数/参加局数という観点で見ると、得点的にはデジタル>電話>電信の順に有利なことが分かります。



3. 県外参加局（SWLを含む）の交信分析を行いました。

県外交信局34局が交信した福島県内局は139局でした。

139局の内訳ではログを提出された県内局が34局、ログを提出されなかった
県内局が105局でした。

